



2024年7月2日

東フィンランド大学名誉博士の称号を授与

<概要>

豊橋技術科学大学 中内茂樹特命理事・副学長が、大学間交流協定校である東フィンランド大学から名誉博士号を授与されました。

名誉博士号は、大学が個人に授与する最高の荣誉とされ、2024年6月7日に東フィンランド大学(フィンランド北カレリア県ヨエンスー市)にて行われた2024年博士号授与式(補足①)において、名誉博士号を授与されました。授与式は5年に一度開催され、それぞれの学術分野において科学的または社会的に卓越した研究者が選ばれます。今回は世界各国から13名(理学・森林学部からは4名)が選ばれ、中内特命理事は、これまでの本学と東フィンランド大学との国際共同教育プログラムの構築での功績が認められ、今回の授与となりました。



写真1：式典後のスナップ

(左) 東フィンランド大学 理学・森林学部 副学部長 Markku Hauta-Kasari 氏

(右) 豊橋技術科学大学 特命理事・副学長 中内 茂樹 氏

<詳細>

中内特命理事と東フィンランド大学との交流は、特にコンピュータサイエンスとフォトリソグラフィ分野で1995年に始まり、長年に渡って、フィンランドと日本の間の教育及び研究の発展に貢献しました。

本学と東フィンランド大学は、中内特命理事の交流をきっかけに、2002年5月に大学間交流協定が締結され、以降、多くの研究者、学生の交流が行われています(補足②)。現在、本学と東フィンランド大学は、情報・知能工学専攻において、博士前期課程及び後期課程で

ダブル・ディグリープログラムを共同運営しています。また、東フィンランド大学を含む欧州の大学3校と共同でマルチ・ディグリープログラムを運営しています。こうした共同教育プログラムを活用し、多くの本学学生が東フィンランド大学で学び、多数の留学生が本学で学び、学位を取得しています。中内特命理事は30年間にわたりフィンランドとの間で築いてきた信頼のうえに、こうした国際共同教育プログラムを構築してきました。



写真2：東フィンランド大学から Doctoral Hat を授与される中内特命理事
写真提供：東フィンランド大学



写真3：東フィンランド大学で行われた2024年博士号授与式の様子
写真提供：東フィンランド大学

補足① 博士学位授与式 (doctoral conferment ceremony) では、博士学位の象徴である doctoral hat (博士帽) が与えられ、以降、学位審査会などの学術的な場においてこの帽子を着用する権利が与えられます。3 日間にわたる祝典では、博士学位授与式のほか、学長主催の昼食会、植樹、街頭行列 (procession)、晩餐会と舞踏会などが行われました。このフィンランド学術界の伝統的な式典は、およそ 400 年前にスウェーデン女王クリスティーナによってトゥルクで始まったもので、フィンランドでは今もなお、当時の主要な特徴が保持された形で存続しています。

補足② 東フィンランド大学と豊橋技術科学大学の間では、2023 年度までに本学から学生 101 名を派遣、東フィンランド大学から 38 名を受け入れてきました。また、教職員交流に関しても、36 名派遣、20 名の受入実績があり、東フィンランド大学は本学の交流協定校のなかでも最も交流が活発な大学の一つです。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田

TEL : 0532-44-6506 FAX : 0532-44-6509

Email: kouho@office.tut.ac.jp